



今月の一枚

つばき・仏陀（順慶寺境内にて）

◆◆ 仏陀という名のツバキ ◆◆

順慶寺には、花祭りのころに咲く、仏陀という名前をもつツバキがある。葉は小葉性のやや細葉、花はローズピンクで弁数が少な目の半八重咲き。中国の雲南ツバキから作られた品種だという。今から三十年ほど前、責役の相木国男氏の父親、元責役・相木茂保氏が植えてくださったもの。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2023年(令和5年)

4月号

VOL.354

◇ 悪口から善き友は見いだせない ◇

今月の釈尊の言葉は『ダンマパダ』より、

「悪しき友と交わるなかれ

卑しき人と交わるなかれ

善き友と交わるがよい

尊き人と交わるがよい」(第七八偈)

という一節からの引用です。

かつて、釈尊は二十九歳のとき、出家を決意し、妻・ヤシヨードラと一人息子・ラーフラを置いて夜更けに、愛馬カントカと馬係の①チャナをだけ共として城を抜け出し、遠く離れた、マガダ国まで行き、苦行を始めました。六年後、悟りを開かれ、仏陀とられました。

その後、釈尊の親族・釈迦族の人々、舍利弗や目連、摩訶迦葉など優秀なお弟子も沢山でき、やがて馬係のチャナも出家しました。しかし、チャナは、釈尊と旧知の仲であり、生まれもクシャトリア(王種)出身だったこともあり、口が偉く、周りの弟子達や長老たちに対して、嫉妬心をはたらかせ悪口を重ねました。チャナが、舍利弗や目連の悪口を言ってい



今月の釈尊の言葉

悪しき友と交わらず こころ清き人と交われ

◆ダンマパダ(法句経)
第七八偈より
釈尊の出家の際に馬係をしたチャナに渾身の心をこめて与えた言葉です。



若院のテーマカット NO.47



ることを知った釈尊は、チャナを呼び出して、「舍利弗や目連は、あなたのおかげがえのない善き友であり、最上の人たちです。この人たちに仕えて親しむようにしなさい」と、渾身の心をかけて説かれたといひます。

これが今月の言葉の典故です。

しかし、その後もチャナが陰口を続けるので、いつもそばに仕えていた阿難に、「私が生きている間に、チャナを学ばせることができません。亡くなった後にその意味が分かるでしょう。チャナには、梵罰ぼんばつを与えなさい」と遺言して、釈尊は亡くなっていかれました。

梵罰とは、誰も教えず、語らない、無言の罰のことをいいます。

釈尊が亡くなってから、弟子達から受ける梵罰の孤独に、チャナンは、「尊者方、私を見捨てないでください」と叫び、苦しみ、気絶して倒れたといます。その後、弟子達から釈尊の真意を聞いて、心から後悔して阿羅漢の境地に入ることができたといっています。

◆教えを聞くことの大切さ◆

有名な、善導大師の説かれた、「二河の譬えをご存知でしょうか。教えを聞くことの困難さを示した譬えです。

「西へ向かえば西岸に渡る白道がある。しかし対岸は遠くないとはいえ、この白道は渡るにはあまりにも幅が狭く、足を踏み外せば確実に死んでしまうだろう。東に引き返したとしても賊徒や猛獣たちが群れをなして襲いかかっ

①【チャナン】

前五世紀ごろのインドの僧。車匿ともよばれる。クシャトリア階級の出身で、その身分から釈迦国王室の使用人となり、釈尊の愛馬・カンタカの世話係となった。釈迦が王城・カピラバステウを後にして出家したとき、その馬を引いたという。釈迦の没後、阿難について修行し、阿羅漢となったといわれる。真宗七高僧の一人、善導が浄土教の信

てくる。南北に逃げようとしたところで、やはり賊徒と猛獣が向かってくるだろう。その人の心は恐怖でいっぱいとなったが、引き返しても、ここにどまってもいけない、そしてこの道を前に進んで行くにしても、結局のところ死は免れそうにない。それならば、目の前に道があるのだから、この道をまっすぐに進んで行こうと決意した」(『二河譬とは』『浄土宗大辞典』より)

生きることを悩んで、道を進もうとするとき、相も変わらなず後ろからは欲望をもった誘惑や悪友の誘い。どれだけ穏やかにしようと思っても、周りを見ては嫉妬心や貪欲がはたらく。これが私たちの現実でしょう。

だからこそ、私たちは、自らの悪いところを指摘してくれる人、道を教えてくれる人と交わることが大切だ、と釈尊は教えて下さいます。

心を喩えたときされる。主に掛け軸に絵を描いて説法を行った。

絵では上段に阿弥陀仏と観音菩薩・勢至菩薩の二菩薩が描かれ、中段から下には真つ直ぐの細く白い線が引かれている。白い線の右側には水の河が逆巻き、左側には火の河が燃え盛っている様子が描かれている。下段にはこちらの岸に立つ人物とそれを追いかける盗賊、獣の群れが描かれている。(WikiPediaより)



4月8日は、お釈迦様の誕生日で、花祭りといひますよ。どうして、花祭りといひのでしょうか。



4月8日が、お釈迦様の誕生日だということをよく知っていますね。

八十歳以上のお年寄りの人たちが聞きますと、昔は、学校で花祭りがあって、学校でお寺さんにお釈迦様の誕生のことを聞いてから、お寺に行列をくんで出かけていったそうです。みんなでのお釈迦様の誕生日を祝ったんですね。

勢の皆さんを迎えるために、近くの人たちが集まって、花御堂の屋根に沢山の花を飾り付けたそうです。では、お釈迦様の誕生日がどうして花祭りという名前がついたのでしょうか。これは、カピラ城のお妃様であった母・マヤーが、ようやく授かった子どもを産むために、生まれ故郷へ戻る途中、お花畑のルンビニー園に立ち寄って休憩していると、目に入った美しい花をとろうと手を伸ばしたとき、急に産気づき、間もなく右脇から出産されました。お花畑の中でお釈迦様が誕生されたので、誕生日を花祭りと言います。

お寺とともに 喜びは一瞬 WBCでは、見事に日本が世界一になりました。まるで我が子を応援するかのよう、ハラハラドキドキ、漫画のような展開に思わず泣けてしまった人も多かったのではないのでしょうか。優勝の余韻に日本中が浸っているときに、ふと、昨年のサッカーのワールドカップでゴールを決めた若い選手のインタビューが思い出されました。彼は、子どもの頃からの夢を叶えて、日本中が歓喜するゴールを決めたわけですが、その後にはぽつりと一言。「夢は叶えたけれど、喜びは一瞬。失敗や後悔は長く続くのに...」

お寺とともに

喜びは一瞬



第三十六回 タケノコ掘り 毎年この季節になると門徒さんのご尽力のもと、たけのこ掘りを行います。たけのこ掘りには竹藪の整備をしなくてはなりません、これが一言では表せないくらい重労働です。最近になって少しだけ整備に

参加させていただきますが、数本切り出した竹を運ぶだけでトヘトヘです。子ども時分は何気なく参加していたたけのこ掘りですが、自分たちの知らない苦勞があったのだなあとしみじみ感じます。



コロナをこえて三年ぶり

護寺役員年番会開催

さる、3月25日、順慶寺本堂にて、小雨の中、護寺役員年番会が開催されました。

コロナ禍のため、令和2年から4年まで開催を自粛していたため、三年ぶりの開催となりました。今回の会議から、政府の方針を取り入れて、三十五名までの本堂内の入堂規制を、ディスプレイをとることを条件に撤廃することとしたため、本堂一杯のイス席を準備したところ、雨の中にも関わらず七十名を超える人たちが本堂に集まってきた。

会議では、二人の責役と護寺会長の挨拶があり、その後、令和5年度の就任予定役員の発表がありました。役員名簿は、下表の通り。

その後、令和4年度の護寺会会計報告が護寺会会計がなされ、続いて、事務局より、令和5年度の行事計画などの説明がなされました。

令和5年度より、年番の皆さまによるお勝手のお手伝いは休止して、法要当日の配膳やおサガリの分配などの作業にあたっていただくことになりました。

令和5年度 順慶寺役員年番・就任予定者名簿

令和5年度(令和5年4月1日より令和6年3月31日)

Table with 2 main columns: 責任役員 (North/South) and 門徒会役員 (Men/Women). Lists names and roles for various groups like 北尾組, 相木 国男, etc.

(泉田・今川) ○は年番長

Table showing regional divisions: 泉田地区 and 今川地区. Lists members for groups like 市場上組, 市場下組, 高畑組, etc.

(三河・尾張)

Table showing regional divisions: 三河地区 and 尾張地区. Lists members for groups like 平松組, 来迎寺組, 西丘組, etc.

Summary table for administrative roles: 会計, 監査役, 事務局, 順慶寺, 順慶寺墓地, 委員長, 副委員長, 会計, 監事.

お墓参りで生き甲斐

3月上旬、長野県飯田市から順慶寺にある墓地にお墓参りに来られ、墓地が見当たらないと尋ねてこられた方がありました。

話を聞けば、五十年ほど前にトラブルが起きて、故人となった方にお詫びのつもりで、毎年お参りに来ていたが、どうもお墓が見当たらないので心配になったとのことでした。その方に、お墓は故人の家族が絶えて無縁となってしまう、縁者によって、惣骨塔に改葬されたことをお伝えしたところ、後日電話があり、お寺の本堂と惣骨塔でお参りがしたいと、遠路直出してこられました。

お参りの当日、「あの日帰ってから、いつしかお参りしていることが心の支えになっていたことを知りました。今日お参りしたことで、真の意味で精一杯生きることができそうです」とおっしゃって見えました。

編集部短信

◆本堂の畳一部入れ替え 3月下旬、順慶寺本堂の畳の9枚が入れ替えられた。3月の法要で香炭による焦げができたため、外陣中央の9枚の畳が、小牧市のとりまつ畳店によって取り替えられた。色の調子は周りとは一致しないものの、青畳の香りが本堂に清浄な空気をもたらした。

◆相木氏竹林を整備 3月10日、責役・相木国男氏所有の竹林を整備。整備に参加したのは、総代OBを中心に二十名。竹林の中で密集した竹を間引き、切り出した竹を隣接する畑で竹を燃やす恒例の行事。

編集雑誌

四月からの新年度を前に、護寺役員年番会を開催したところ、七十名を超える皆さんが集まり、コロナ以前の活気に戻りました。三年間空白があり、あれこれ心配して準備しましたので、皆さんの熱気に、総代さんの目が輝いて見えませんでした。これからの一年、本堂にいいスタートが切れたと感じています。(住)

いよいよ新年度。コロナも落ち着き、蓮師会などの法要も平常運転に戻りつつあります。思えば、本格的にお寺に携わるようになって以来、短縮化された行事ばかりでしたので、うまくやれるかな不安半分、期待半分といった心境です。(若)

おいらせ 4月の寺カフェ お庫裏でオープンします オケケ&人形劇を上演します。皆さんをお待ちしています。場所 順慶寺の庫裏・東屋 日時 4月1日(土曜日) 9時~庫裏玄関よりお入りください 10時15分よりオカリナ演奏 曲名:桜・上を向いて歩こう・君をのせて 10時30分より 人形劇(スプの会) 演目 ふんぶく茶坊主! みおさん来てくださいな

3月度護寺会物故者 釋清歡 3月10日寂 岡本清福(83) 今川東組 岡本明紀様の父 優性院釋尼久生 3月23日寂 神谷久子(79) 市場上組 神谷英俊様の母



4月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	土	(有志)寺カフェ・人形劇(9:00~、順慶寺庫裏)	
2	日		
3	月	宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年慶讃法要団参(21組主催) お楽しみ会(14:00、順慶寺本堂)	
4	火		
5	水	蓮師会事前連絡会(19:00、順慶寺玄関)	
6	木	むつみ会総会(14:00、順慶寺本堂)	木-1
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木	予算教化委員会(13:30、順慶寺玄関)	木-2
14	金	富士松教団春季講座(13:30、泉田町・西念寺) 男女助音講(16:00、順慶寺本堂)	
15	土	タケノコ掘りと花祭り・初参り式(相木氏竹林~順慶寺本堂) 最高顧問会議(18:00、順慶寺玄関)	

16	日		
17	月		
18	火	真宗講座(19:00、順慶寺本堂)	
19	水	宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年慶讃法要団参(順慶寺護寺会主催)	
20	木	おみがき・大掃除(8:30、順慶寺) 男女助音講(14:00、順慶寺本堂)	木-3
21	金	花立て(8:30、順慶寺)	
22	土	本堂お荘厳・準備(9:00、順慶寺)	
23	日		
24	月	蓮師会・護寺会総会(9:30~、順慶寺本堂)	
25	火		
26	水		
27	木		木-4
28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	土		
30	日		
5/1	月	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺庫裏) お楽しみ会(14:00、順慶寺本堂)	
5/2	火		

4月行事内容 詳細

富士松真宗教団春季講座

4月14日(金)

午後1時30分 泉田町・西念寺

講師 大谷高校教諭 平原晃宗氏

会費 五百円(お賽銭)

富士松地域にある真宗教団八ヶ寺に合同で公開講座を開催します。昨年からは、春季講座は、どなたでも参加できる形式になりました。講師には、京都から大谷高校教諭・平原晃宗氏にお越しいただき、慶讃法要のテーマ「南無阿弥陀仏」の人として生まれた意味をたずねていこう!!についてお話しします。

蓮師会・護寺会総会

4月23日(日)・24日(月)

午前9時30分 順慶寺本堂

法話 23日 慶栄寺住職 瀧義範氏
24日 蓮成寺住職 青木馨氏

本年も、順慶寺二大法要の一つ、蓮師会を厳修いたします。また、同日護寺会総会、護寺会員追弔会も開催する予定です。昨年に引き続き、コロナ対策のため、午前のみ法要となります。当日、お斎は、弁当を準備いたします。護寺会員の皆さまには、別途案内状を配布いたしますので、御参詣のほどお願いいたします。

お知らせ

●慶讃法要団参募集を終了

4月19日に予定されている順慶寺護寺会主催の慶讃法要団参ですが、3月一杯で募集を終了しました。多くの皆さんの申込ありがとうございました。

●誕生児初参り式について

例年、蓮師会の初日の行われていました。誕生児初参り式ですが、三年に亘るコロナ自粛を経て、4月15日、順慶寺における花祭りの当日に実施することに

なりました。今年の誕生児該当者は、令和2年から令和4年の誕生児。是非この機会に本堂にて初参りをどうぞ。お問合せは順慶寺まで。

●護寺会員追弔会について

コロナ禍で三年間自粛していましたが、護寺会総会を、本年から実施するのに合わせて、三年分の物故者追弔会を実施する予定です。該当者には、順慶寺から通知を出す予定です。

お香の日

じゅんこのときめき歳時記

みなさん、三月の終わりになって、いきなり温かくなってきましたね。体調はいいですか。

ところで、四月十八日がお香の日というのをご存知ですか。私が今住んでいる京都では、香道といって、香をたしなむ習慣があり、4月は大切な月なのだそうです。

何故四月十八日がお香の日になったかと言いますと、日本の淡路島に初めてお香が漂着したのが、聖徳太子が活躍された、今から一五〇〇年ほど前の4月。それと、香の字が、「日」「十」「八」と分解されるので、十八日が決まったそうです。

お父さんに聞いたところ、お香は様々なものがあって、一番高いとされる伽羅は、深い香りがして、焚くと一気に清らかな空気に変えることができそうですが、一握りで十万円は下らないと言っていました。驚きですね。

伽羅の香の

仏臭さよ御身拭

文武

